

平成26年度

事業計画書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

公益財団法人 日本サイクリング協会

自転車走行のルールの遵守とマナーの実践、正しい乗車、正しい整備等を実践する「正しいサイクリング」、健康維持と体力向上につながる「楽しいサイクリング」の普及活動、調査研究の提言による自転車社会の環境整備活動を通じ、国民の心身の健全な発達と豊かな人間性の涵養をめざし、生涯スポーツとしての安心、安全で正しいサイクリングの普及を目的とする下記の事業を実施する。

◎公益事業振興補助事業

1. 指導者の育成等事業

「正しいサイクリング」の普及発達を図るため、正しい知識と最新の技術を身につけたサイクリング指導者を育成するため、その基礎となるサイクリング・リーダー養成講習会を都道府県サイクリング協会の協力のもとに開催し、受講修了者を本協会指導者として公認するとともに、上級クラスのサイクリング・インストラクターへの昇級を希望する者に検定試験を行う。

2. サイクリング大会開催事業

全国47都道府県サイクリング協会に属する本会公認指導者を活用して、サイクリング大会の運営に豊富な経験と実績がある都道府県サイクリング協会と協力して、初心者から上級者までのニーズに応じ、地域振興のモデルケースともなる各種の安心・安全なサイクリングイベントの提供、手軽に自転車を楽しめる場の提供、「正しいサイクリング」に関する情報発信と「楽しいサイクリング」に関する情報の提供、「正しいサイクリング」と「楽しいサイクリング」を実践する者の拡大に資する様々な形態のサイクリング大会を広く一般市民に提供する。

(1) 全国サイクリング大会の開催

サイクリングに対する関心を全国的に高めるため、全国のサイクリング愛好者に参加を呼びかけ全国サイクリング大会を開催する。

大会は全国7ブロックの地域持ち回りで、該当するブロックの担当都道府県サイクリング協会の協力を得て年1回開催する。

本年度は香川県サイクリング協会が「さぬきうどん県・サイクルドリームフェスタ」として開催する。

香川県 高松市周辺 9月27日(土)～28日(日)

(2) ブロックサイクリング大会の開催

全国7ブロックにおいて、サイクリングに対する関心を高めるため、主に当該ブロックごとのサイクリング愛好者を対象とし、全国大会開催ブロックを除く他の6ブロックにおいて、各々のブロック内の担当県サイクリング協会の協力得て開催し、自転車愛好者の拡大とサイクリングの普及促進に努める。

各ブロック大会の開催場所及び日程

北海道ブロック : 北海道十勝・豊頃町 9月 6日(土)～ 7日(日)

東北ブロック	: 福島県会津若松市	9月27日(土)~28日(日)
関東甲信越ブロック	: 埼玉県東松山市	9月20日(土)~21日(日)
中部日本ブロック	: 福井県勝山市	9月下旬予定
近畿ブロック	: 京都市左京区	10月25日(土)~26日(日)
九州ブロック	: 宮崎県西都市	9月25日(土)~26日(日)

(3) 県サイクリング及びサイクルスポーツ大会の開催

各都道府県の地域レベルに対するサイクリングの関心を高めるため、主に当該地域のサイクリング愛好者を対象とし、各都道府県サイクリング協会の協力得てセンチュリーランや、MTB大会等の地域の特性を活かしたサイクリング大会等を年間20回開催し、サイクリングの普及振興を図る。

3. 特別普及奨励事業

地域振興のモデルケースともなる各種サイクリングイベントの提供と「楽しいサイクリング」の具現化を推進するため、サイクリングの専門的分野としてヒルクライムや耐久レース等それぞれの分野毎に最新のユーザーニーズを取り入れ、本会が主催・共催して地方公共団体等と協力して事業運営することにより、当該地域の活性化とサイクリングの普及発達を図る。

(1) 蔵王ヒルクライム大会の開催 5月17日(土)~18日(日) 予定

東北エリア南部において、体力面、技術面、精神面でチャレンジし、究極の達成感を求める全国のヒルクライム愛好家のニーズに応え、宮城の蔵王エリアの地域振興を図るため、蔵王エコーライン・ハイラインをコースとし、宮城県蔵王町と共催で、「日本の蔵王ヒルクライム・エコ2014」を開催する。

(2) シティサイクリング大会の開催 9月21日(日) 予定

本大会の手本となったバイクニューヨークと公式提携を行い、東京都心部で大勢のサイクリング愛好者が自転車の快適性をアピールし、市民が休日を利用して自転車でゆっくりとサイクリングし自転車の有用性をアピールする都市型サイクリング「東京シティサイクリング2014」を開催する。

(3) Mt. FUJIエコサイクリング大会の開催 9月13日(土)~14日(日) 予定

日本を代表する雄大な富士山を絶えず視界に納めながら富士山麓を一周し、自然環境保護の意識を高める「2014 Mt. Fujiエコサイクリング」を開催する。

(4) 耐久サイクリング大会の開催 11月22日(土) 予定

首都圏の南東地域にあたる千葉県袖ヶ浦市の袖ヶ浦フォレストレースウェイにおいてサイクルイベント開催の閑散期になる11月に、サイクルレースのビギナーからベテランまでを対象にした「耐久サイクリング in 袖ヶ浦」を開催する。

4. 神宮外苑サイクリングコース運営事業

大都市内における安全で快適な自転車の解放区として、神宮外苑の周回コースを毎

日曜・休日（年間約60回）に自動車の交通規制を実施し、自転車無料貸出し業務を行うとともに、コース内の一部において自転車に乗れない人を対象として自転車の乗り方教室を開催するとともに、春・秋には、四谷警察署等と共催し、自転車の交通安全大会を開催する。

5. 自転車に関する調査研究事業

本会内にスポーツ用自転車及びサイクリング環境に関する様々な知識を有する者を委員とする「自転車乗用に関する調査研究委員会」を設置し、観光振興策としてサイクリング環境の改善を実行できる地方自治体等に対し、比較的低コストで実現できるサイクリング環境の改善に関する事、並びに2020年東京オリンピック開催を視野に入れ、大都市圏における自転車交通インフラ整備に関する調査研究を行ない、提言を行う。

6. 自転車に関する広報事業

世界の自転車先進国の仲間入りができるような自転車文化の醸成を図るため、サイクリング愛好者は勿論、サイクリングや自転車に関心を持つ全ての人々を対象に、本会が率先して発信しなければならない様々なサイクリングの楽しみ方、自転車乗用に関するルール・マナー、自転車の乗り方、自転車の扱い方等の「正しいサイクリング」と「楽しいサイクリング」に関する情報等を本会内に編集委員会を設置して、内容を広く一般にわかりやすく編集し、豊かなサイクリングライフを提案する情報誌「サイクリングジャパン」を年4回発行する。

◎自主推進事業

1. ブロック別会議の開催事業

全国7ブロックに所属するサイクリング協会の代表者と各種情報交換や事業運営等について会議を開催する。（北海道、東北、関東甲信越、中部日本、近畿、中国・四国、九州）

2. 無料法律相談の開設

本会に顧問弁護士を置き、自らが自転車乗用の模範となる意思を持った賛助会員の「安心」を担保・支援するため、本会顧問弁護士の協力を得て自転車に係る問題の無料法律相談所を開設する。

3. 指導者登録証作成交付事業

本会公認指導者のサイクリング・ディレクター、サイクリング・インストラクター及びサイクリング・リーダーの新規登録、更新時に指導者登録証を作成、交付する。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

安全に安心して参加できるサイクリングツアーの規範を構築するため、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営に向けた基盤整備を行い、旅行会社等と連携して実施する。

5. サイクリング普及推進事業

全国各地で企画立案されているサイクリング大会等の開催やサイクリング普及推進活動を支援するため、各都道府県サイクリング協会に助成するとともに、サイクリングの普及振興策に関する創意工夫等の助言や協力を行う。

6. 交通安全推進事業

地方協会が開催する自転車安全教室に対し資料提供などの協力を行うとともに、JCA主催、関連大会及び神宮外苑サイクリングコースにおいて自転車安全乗用プログラムを展開するほか、全日本交通安全協会等の交通安全教育実施機関への協力を行う。

7. 賛助会員拡大推進事業

本会賛助会員の拡大・管理に対応でき、かつ、会員管理における個人情報保護の強化、会員入会手続きの円滑化、イベントエントリーの正確、迅速化に重点を置いて賛助会員管理システムの基盤整備を行う。

8. 耐久サイクリング in 筑波の開催 8月9日（土）予定

スポーツバイク愛好者が数多く在住する首都圏に近い筑波サーキットにおいて、終日他の交通に干渉されないサーキットで自転車のスピード感を思う存分味わい、レース気分を楽しみながらチームの仲間たちと協力し合える場を提供するため、1チーム3～6名以内で周回数を計測する発信機をバトン代わりにして走る、耐久サイクリング大会（9時間）を開催する。

◎協力事業

1. 運営強化協力事業（主催事業）

（1）サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルとの連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルの共通する諸問題に対処する。

（2）サイクリングイベント関係

ア 大会運営関係

本会が募集を行い、実行委員会に人材を派遣して行う「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」、及び実行委員会に本会

職員を派遣する「時空の路ヒルクライム in 会津」の各大会運営において、企画立案、財政面及び開催に対する技術面についての指導・助言を行う。

イ JCA全日本ヒルクライムシリーズ運営事業

全国のヒルクライム愛好家のニーズに応じるため、「日本の蔵王ヒルクライム・エコ大会」、「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」、「矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック大会」の4大会のうち3大会に参加し、チャンピオンとなった男女1名ずつを台湾で開催される世界一の難易度である「太魯閣（タロコ）国際ヒルクライム大会」に招待する事業を「JCA全日本ヒルクライムシリーズ」として運営する。

2. その他の事業

自転車に関連する交通安全対策を審議する（一財）全日本交通安全協会主催の「自転車安全教育推進委員会」に委員として出席し、同会主催の「全国子供自転車大会」の開催に協力するとともに、（一社）日本スポーツツーリズム推進機構の会員となり、観光とサイクリングに関する情報収集を行う他、サイクリングイベントに関する後援、協力など本会の名義使用の依頼に対応する。

◎会議関係

財団運営の基本事項を策定するため、理事会、評議員会を開催する。